



[祈りと信仰のまち京都]
門前の営み

歴 2-02 (R03)

明治時代のガイドブック『都の魁』（明治16年刊行）にも記載されている、寛政2年（1790）創業の八木仏具店は、東本願寺門前、上珠数屋町通と不明通に面して建っています。東本願寺との関わりは深く、禁門の変（1864）で焼失した御影堂などを再建する際にも協力を惜しまなかったといわれています。東本願寺の出入業者で形成される真宗大谷派保信会には、「八木念珠店」という名で加盟しています。

当初2階建て表屋造りであった町家は、明治45年の市電烏丸線の開通にともなう烏丸通拡幅を記念して、大正時代に木造3階建て、入母屋造り、赤壁塗りという特徴ある町家に大改造されました。その後、平成18年にも町家の意匠を用いた改修がなされ、烏丸通りから見ると、幾重にも重なる屋根と赤い壁が特徴的な外観となっています。

かつては念珠を店舗販売だけでなく、近隣の詰所（門徒の宿泊施設）に持ち込み、手売りしていた時代もありました。

現在では、お客様のご要望に沿ったオーダー念珠を中心に、色合わせにこだわったオリジナル念珠・ブレスレットを製造・販売しています。



店内



店内

八木 東本願寺街
八木佛具店

〒600-8150 京都市下京区上珠数屋町324

電話番号 075-343-0123

アクセス 地下鉄烏丸線「五条駅」5番出口より徒歩4分

Instagram 八木仏具店 (@ysss97)